

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **コミセン-男36**

年月日 **2022 年 8 月 1 日 (月)**
 大会名 令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高松高松地区 第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

公 式 記 録 用 紙

A		県立藤代紫水高等学校										大阪体育大学浪商高等学校										B																					
都道府県		愛媛県				松山市				松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ						会場		回戦				3回戦																					
前半		A		B		最終結果		A		B		第1延長		A		B		第2延長		A		B		7m追加 コソバ		A		B															
7m得点/総数		0/0		1 2929		2		3						1 2043		2		3		1/1				7m得点/総数																			
No.		藤代紫水										G		W		2'		D		DR		No.		大体大浪商										G		W		2'		D		DR	
1		津覇 一快																				1		大砂 佑真																			
2		風見 悠斗																				3		小門 聖昌										2									
3		宝田 凜																		4		門田 晃季																					
4 c		藤井 奏輔														1				5		和田 拓馬										9											
5		大橋 真人										4								6		井上 凜太郎										3											
6		牛丸 三士朗																		7		市原 駿太										1											
7		小泉 涼太										5								8 c		竹下 颯斗										7											
8		熊本 草太										3		1						11		勝村 海生																					
9		飛澤 翔										4								15		西村 直将																					
10		生鷹 頼太																		16		田代 稔																					
11		小久保 穰																		17		尾上 悠利										6											
12		齊藤 慧遵																		19		橘 光太郎										4											
13		大友 克海										3								20		野中 洸希																					
14		熊谷 継										3		1						21		鈴木 昊紀																					
監督A		小倉 慶輔																		監督A		徳永 昌亮																					
役員B		滝川 一徳																		役員B		山本 智章																					
役員C		会田 亮祐																		役員C		井手 琴音																					

A **小倉 慶輔** チーム役員A署名 **徳永 昌亮** B

特記事項

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑	櫻井 隆光
TD	壺内 博章	近藤 啓司	壺内 博章	近藤 啓司
MO	多田 和生		多田 和生	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



Japan Handball Association

記 録 用 紙
ラ ン ニ ン グ ス コ ア試合
番号

コミセン-男36

年月日	2022 年 8 月 1 日 (月)	会場名	松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ
大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高松宮記念杯 第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会		

A	県立藤代紫水高等学校	22	VS	32	大阪体育大学浪商高等学校	B	男子	3回戦
---	------------	----	----	----	--------------	---	----	-----

スロ-オフ
藤代紫水

11	-	19
11	-	13
-	-	-
-	-	-
7mTC	-	-
-	-	-

No.	藤代紫水	G	W	2'	D	DR
1	津覇 一快					
2	風見 悠斗					
3	宝田 凜					
4 c	藤井 奏輔			1		
5	大橋 真人	4				
6	牛丸 三士朗					
7	小泉 涼太	5				
8	熊本 草太	3		1		
9	飛澤 翔	4				
10	生鷹 頼太					
11	小久保 穰					
12	齊藤 慧遵					
13	大友 克海	3				
14	熊谷 継	3		1		
監督A	小倉 慶輔					
役員B	滝川 一徳					
役員C	会田 亮祐					

No.	大体大浪商	G	W	2'	D	DR
1	大砂 佑真					
3	小門 聖昌	2				
4	門田 晃季					
5	和田 拓馬	9				
6	井上 凜太郎	3				
7	市原 駿太	1				
8 c	竹下 颯斗	7				
11	勝村 海生					
15	西村 直将					
16	田代 稔					
17	尾上 悠利	6				
19	橋 光太郎	4				
20	野中 洸希					
21	鈴木 昊紀					
監督A	徳永 昌亮					
役員B	山本 智章					
役員C	井手 琴音					

Ref	堀田 侑佑	櫻井 隆光
T D	壺内 博章	近藤 啓司
MO	多田 和生	

A		B				
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番
前 半						
		00	53	1		19
7	1	01	34			
		01	59	2		8
5	2	02	25			
		02	57	3		17
		04	11	4		8
9	3	05	30			
		05	56	5		8
		07	32	6		5
7	4	08	39			
		09	09	7		6
5	5	09	40			
8 S		10	05	8	○	8
14	6	11	59			
		12	18	9		19
		13	50	10		5
		15	09	11		6
8	7	16	18			
		16	54	12		6
5	8	17	25			
		18	00	13		5
		18	49	14		17
		19	55	15		5
		20	43		T	
		21	43	16		5
14	9	22	24			
9	10	23	12			
		23	38	17		5
4 S		24	33	18		3
		26	37	19		5
		29	29			
9	11	30	00			
		後 半				
14	12	01	29			
		03	36	20		8
13	13	04	14			
		04	42	21		17
		05	27	22		17
7	14	06	20			
		07	46	23		8
13	15	09	46			
		12	45	24		17
14 S		14	38			
		15	00	25		3
13	16	15	40			
		16	07	26		19
		16	58	27		19
		18	12	28		8
9	17	20	52			
8	18	22	47			

A		B				
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番
		23	22	29		5
8	19	23	57			
		26	36	30		17
7	20	27	08			
		27	48	31		7
5	21	28	35			
		29	38	32		5
7	22	30	00			
試合終了						

特記事項

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年8月1日(月)		会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ	
種別	男子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
県立藤代紫水高等学校(茨城)			大阪体育大学浪商高等学校(大阪)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	11	前半	19	32	
	11	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

今春の選抜3回戦で対戦した両校が、インターハイの3回戦で再び顔を合わせた。リベンジを誓う藤代紫水高校と、悲願の優勝を目指す大体大浪商高校。次のステージへ駒を進めるのはどちらか。前半立ち上がり、浪商⑨橋⑧竹下、藤代紫水⑦小泉⑤大橋が交互に点を取り、両チームまずまずのスタートを切った。先に流れを引き寄せたのは浪商。⑰尾上のモデルを皮切りに⑧竹下⑤和田⑥井上と得点を重ねる。対する藤代紫水も⑨飛澤の速攻、⑤大橋⑭熊谷のステップシュートなどで得点するが、浪商の堅い守備に阻まれてなかなか連続得点ができない。その間に浪商は⑤和田を軸に3連取、さらには4連取とじりじりと差を広げ、19対11の8点差で前半を終えた。

後半に入り早く追いつきたい藤代紫水だったが、浪商のGK①大砂を中心とした固い守りに苦戦。ペースは自然と落ち着き、前半立ち上がり同様藤代紫水は⑭熊谷⑬大友⑦小泉が、浪商は⑧竹下⑰尾上が交互に得点を重ねる展開となった。15分経過時点で25対15と差を詰めることはできず、時間の経過とともに、浪商は司令塔⑧竹下を中心にしっかりとゲームをコントロールし始めた。終盤藤代紫水も⑧熊本⑨飛澤らが得点し意地を見せたが、32対22で大体大浪商が勝利した。